

## 令和7年度原子力防災訓練の検証結果（概要）

原子力防災訓練（11/28～30実施）の主な検証結果（課題）は次のとおり。

検証結果（課題）	
1	<p><b>オフサイトセンターや各災害対策本部間の連携強化が必要</b></p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県とオフサイトセンターの連携において、現地災害対策本部の活動は情報の仲介が中心であったため、より実践的な役割分担の調整などにより、更なる連携体制の強化を図ることが望ましい。（評価者）</li><li>・ 県と伊方町の連携において、情報共有や支援要請など積極的な活動が見られたが、町災害対策本部側は少人数での活動であったため、より実際に即した体制での訓練を行うなど、要員の更なる対応能力向上を図ることが望ましい。（評価者）</li></ul>
2	<p><b>県災害対策本部内における情報共有の迅速化が必要</b></p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 災害対策本部各班間の情報共有について、手書きの処理票の回覧等により積極的に行われていたが、担当者の負担が大きく、改善の余地が見られた。災害対策本部内の効率的な情報共有方法及び記録方法について、引き続き検討することが望ましい。（評価者）</li><li>・ 一度共有した情報を他の班の方に再度説明することもあった。情報を全体に共有する難しさを感じた。（要員）</li></ul>
3	<p><b>避難経路所における効率的な住民誘導について検討が必要</b></p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 避難車両が多数、避難経路所に到着した際に避難住民の誘導、受付に若干の混乱が生じた。避難バスに随行している職員、関係市町本部及び避難所間において密に避難状況を共有し、受付混雑時は、避難バスから降車させずに待機させるなど、多数の住民を受け入れる体制を構築することが望ましい。（評価者）</li></ul>
4	<p><b>孤立地域における避難退域時検査等について検討が必要</b></p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今回の訓練では、孤立地域から空路避難後に直接避難所に向かったため、安定ヨウ素剤配布及び避難退域時検査を省略したが、確実に実施するための体制等について確認することが望ましい。（評価者）</li></ul>
5	<p><b>緊急時モニタリングにおけるEMC要員の放射線防護対策の強化が必要</b></p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事前に取り決めている試料採取方法に基づき放射線防護対策を実施していたが、訓練の結果を踏まえ、測定採取などの作業における汚染防止のための追加養生を実施する等、更なる安全対策を図ることが望ましい。（評価者）</li></ul>

※検証結果（課題）については、来年度の原子力防災訓練において関係機関と連携して対応することとしている。